

整理番号	7 - 4	事務事業名	防災センター整備事業		作成部署	総務部防災防衛担当	電話	内線652
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	西野隆夫	課長職名	内山浩一	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H16	根拠法令等	河川防災ステーション整備要綱、同運用通達及び河川防災ステーション整備					
〃 終了予定年度	H18							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	石狩川流域で危険区域と想定されている千歳川流域に洪水時や震災時における円滑な水防活動や緊急復旧活動の拠点として、平成12年度から北海道開発局石狩川開発建設部が整備を進めている「北広島地区河川防災ステーション」の中に、市として防災センターを設置する。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第1章)
	節	防災と消防	(第7節)
	施策	総合的な防災体制の充実	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	防災センターの建設	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	洪水時における水防活動に限らず、地震、その他の災害においても、迅速な応急活動、復旧活動を行うため、必要な資機材の備蓄、水防活動、災害応急復旧活動の拠点基地、現地指揮本部等の前線基地としての役割を果たす。また、平常時においては、水防・消防団や自治会、自主防災組織等の水防、防災訓練や研修など、さらには、地域住民活動やレクリエーション、交流の場として利用されることを目的とする。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	防災センター設備関係に係る基本設計、実施設計
		17年度	石狩川開発建設部と市との合築により、防災センターの建築、設備工事を実施

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金			11,700	
	地方債			52,000	72,300
	その他特財			6,331	
	一般財源		4,179		22,268
	合計		4,179	70,031	94,568
人件費(概算)	人数(年間)		0.50	0.50	0.50
	1人当り年間平均人件費		9,000	9,000	9,000
	= ×		4,500	4,500	4,500
総事業費 +		0	8,679	74,531	99,068

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	防災センター建設事業費		168,778	168,778	168,778
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	各年度事業費		4,179	70,031	94,568
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	各年度当たり事業費		2.4%	41.5%	56.1%

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	石狩川流域で危険区域と想定されている千歳川流域に洪水時や震災時における円滑な水防活動や緊急復旧活動の拠点として、平成12年度から北海道開発局石狩川開発建設部が整備を進めている「北広島地区河川防災ステーション」の中に、市として防災センターを設置する。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	災害時において、災害応急復旧活動の拠点基地、現地指揮本部等の前線基地としての役割を果たす同センターは防災行政上、重要である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	災害時において、災害応急復旧活動の拠点基地、現地指揮本部等の前線基地としての役割を果たす同センターは防災行政上、重要である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	災害から市民の生命、財産等を守ることが行政の責務である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	災害から市民の生命、財産等を守ることが行政の責務であり、受益者負担の余地はない。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	17年度18年度の2ヶ年で防災センター建築、設備工事を実施する。完成は18年11月の予定。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	合築で防災センターを整備することにより、事業費の軽減がはかられている。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	17年度18年度の2ヶ年で防災センター建築、設備工事を実施する。 (完成は18年11月の予定)
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり